

## 当社をご利用の皆様へお願い&お知らせ

日頃は、当社をご利用頂き誠にありがとうございます。

今年もイヤな北国の寒さが日増しに近づいて、山樹も一段と紅色に染まり何と忙しい日々と思われます。

さて、皆様がご使用の給湯器及びシャワー付風呂釜の正しい【水抜き】を完全に行って頂きたくお願い申し上げます。

### ！水道凍結注意！ 水抜きの手順

- 1、不凍栓を閉める  
(不凍栓は、流し台の下か、その近くにあります)
- 2、全部の蛇口を開放します  
(管の中の水を全部出します。※台所はもちろんお風呂場もです)
- 3、器具(給湯器・湯沸器)の水抜きをします  
(器具の下部についてます。各機材に説明明記されています)

※給湯器の電源は絶対に切らないで**必ず**いつでも【ON】の状態にしてください。

ご不明な点がありましたら、当社までご連絡下さい。ご説明いたします。

なお、水抜きをしないで万一器具を凍結させた場合は、修理の日数・費用は  
かなりかかりますので十分注意してください。(費用はお客様負担となります)

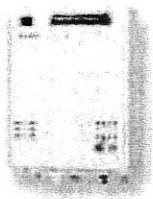
並木燃料 株式会社

フリーダイヤル 0120-59-2500

## ガス給湯器の凍結予防策について

気温が下がる冬期は、ガス給湯器や給水・給湯配管が凍結することにより、ガス給湯器が破損したりお湯が出なくなる恐れがあります。気温が低温になり凍結の恐れがあるときは、次の予防策をお勧めします。  
なお、凍結によりガス機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理となります。

### ■ 予防策1. ガス給湯器の電源プラグは抜かないで！



ガス給湯器内の凍結予防ヒーターや循環ポンプが凍結の危険のある気温近くになると自動的に作動し、給湯器本体の凍結を防止します。

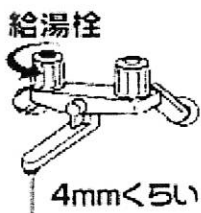
電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは絶対に抜かないでください。また、運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します。

※ただし給水・給湯配管や給水元栓、ふろ配管などの凍結は予防できません。露出している部分は必ず保温材などを巻いて処置をしてください。

### ■ 予防策2. 冷え込みが厳しいときは通水処置を！

凍結を防ぐため以下の通水処置をしてください。ガス給湯器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結の予防ができます。

#### ◆ ガス給湯器の通水方法 ◆



1. リモコンの運転スイッチを「切」にする。
  2. ガス給湯器のガス元栓を閉める。
  3. 給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm程度)を流したままにしておく。
- ※流量が不安定なことがありますので、30分くらい後にもう一度流量を確認してください。

#### ◆ 追いだき機能付ガス給湯器の場合 ◆



追いだき機能付ガス給湯器はポンプが自動的に浴槽の水を循環させて凍結を予防します。浴槽の水を循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。

※ポンプが運転する音がします。

☆水は絶対に抜かないで下さい

※水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

# 冬期の凍結による破損防止について

## 水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。
- ※給湯使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

## ■ふろ側・給湯側の双方で行います。

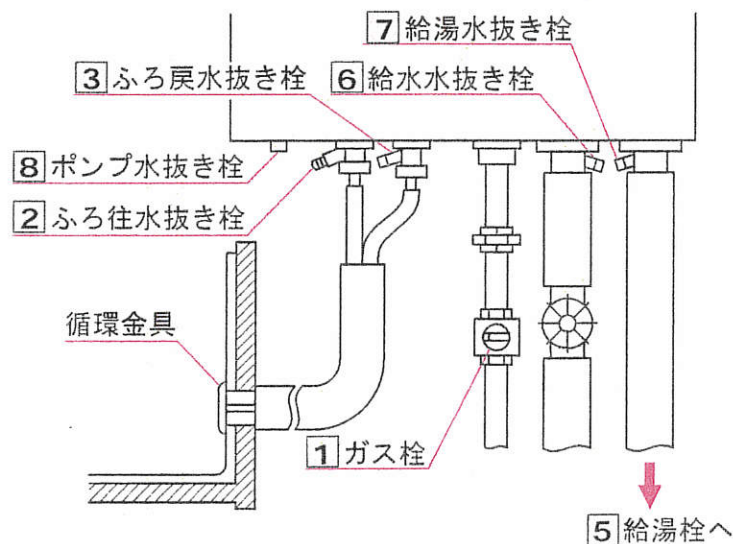
### 1. 給湯側の水抜き

- ① 運転スイッチを『切』にしてください。(電源プラグはまだ抜かないでください)
- ② ガス栓①を閉めてください。
- ③ 給水元栓 を閉めてください。
- ④ 給湯栓⑤をすべて(シャワーなどを含む)開けてください。
- ⑤ 給湯水抜き栓⑦を開けてください。
- ⑥ 給水水抜き栓⑥を開けてください。



給湯側から先に水抜きを行ってください。

お願い



### 2. ふろ側の水抜き

- ① ガス栓①が閉めてあることを確認してください。
- ② 給水元栓 が閉めてあることを確認してください。
- ③ 浴槽の水を排水してください。(浴槽の排水栓を抜いてください)
- ④ 浴室リモコンの運転スイッチを押して(『入』にする)ください。  
※表示画面が点灯します。